

# 夢が花咲き 泉 知のわく

進んで考える子・共に助け合う子・元気でたくましい子



第 5 号  
2025. 6. 13  
文責：校長（門田）

## 全力・協力・努力 チーム一丸となって楽しんだ 運動会

6月7日(土)、晴天の下で運動会が行われました。

児童会運動会スローガン「全力・努力・協力 チーム一丸となって楽しもう」に向かって、全校児童が競技に応援に取り組む姿を見ていただきました。

保護者の皆さんから、たくさんの感想をいただいています。一部ではありますが、紹介させていただきます。

### 1年生

○初めての小学校運動会。子ども達の楽しそうな姿に、見ているこちらでも楽しく嬉しく思いました。

○自分の競技はもちろん、他の学年の競技にも一生懸命応援する姿に胸打たれました。運動会を通して1位になること以外にも大事なことを学んでいるのだなと感じました。

○家でも応援の練習をし、チームのためにがんばっていました。本番も、とても迫力のある応援で感動しました。



### 2年生

○応援では、顔を真っ赤にしながら大きな声を出し踊っている姿が印象的でした。家でも練習していた姿、当日の姿に成長が感じられました。

○去年より身体も心も大きく成長している姿をたくさん見ることができました。徒競走での真剣な表情、玉入れでチームのみんなと協力する姿、家とはまた違う表情と姿に感動しました。

○去年より自信がついたような姿に、安心して見ることができました。総練習の日には、「私が徒競走6位だから負けたのかな」と不安そうでしたが、これもチームの一員として頑張ろうという気持ちの芽生えと感じました。



### 3年生

○徒競走の距離が長くなりましたが、最後まで走り切りました。綱引きにも力いっぱい取り組みました。みんながチームのためにがんばった素敵な運動会でした。



○自宅でもギリギリダンスを練習し、とても楽しみにしている様子が伝わっていました。本番も青組が勝ち全体でも優勝できたこと、とても喜んでいました。子どもの頃「手のマメは頑張った印だな」と思っていたので「軍手をして綱引きする時代になったのかあ」と驚きで

した。

○運動会練習が始まってから毎日運動会の話で楽しい時間を過ごしました。苦手な競技も、上手になろうとコツをたずねる前向きな様子や、当日の周りの友達と取り組む姿に成長を感じました。

#### 4年生

○全力で競技・応援に取り組み、チームに点が入ったときにはジャンプして喜ぶなどチームの一員として参加できている姿に成長を感じました。



○子ども達の一生懸命な姿に自然と応援にも力が入りました。高学年の競技中には4年生がリーダーとなって応援を引っ張る姿も見られました。がんばっている姿に成長を感じました。

○スローガンにあるように、全てのチームが一丸となって、終始飛び跳ねながら一生懸命応援する姿がとても良かったです。

#### 5年生

○最後まであきらめずに全力で走る姿、負けても相手をたたえ拍手する姿、とても良いチームワークだと感じました。総練習の反省を生かし、家でも走る練習をしたり、鶏舞の練習に自主的に取り組んだりする姿も見られました。その成果が本番でしっかり出ていました。



○我が子の鶏舞衣装姿に「鶏舞を踊る年になったんだなあ」と、つくづく成長の早さを実感し、一生懸命踊っている姿に目頭が熱くなりました。天候にも恵まれ、子ども達のがんばる姿に元気をもらいました。

○我が子の競技中の姿を見ることも楽しかったのですが、それ以上に、他学年への応援にも一生懸命な姿に、「協力して、チームで優勝する!」と気持ちを一つにしていることがすばらしいと感じました。高学年になり、クラスとしてチームとしてどう臨むかを考えているようで、成長を感じました。親も参加している気持ちになり楽しかったです。

#### 6年生

○今年のタイヤ取りは、子ども達の作戦が生かされるととても良い形だと思いました。練習の段階から、娘が練習での出来事を楽しそうに話していました。本番では、子ども達がチームで作戦を立てながら競技する姿に、一丸となって真剣に、そして楽しんでいることが伝わってきました。一人ひとりのがんばりに拍手です。



○お天気にも恵まれて最高の運動会でした。どの組団も最後まであきらめることない姿に勇気を分けてもらいました。児童一人一人が「大優勝」ですね。鶏舞もクラスごとだったので娘を見つけることができましたし、回りながら踊るのでタスキや衣装にも動きが出てよかったです。着付けも「手順のプリント」を事前配布していただいたのでイメージトレーニングをして臨むことができました。

○暑い中ではありましたが、整列したり準備や片付け各々の係の仕事をしたり子ども達ができぱきと動く姿に、高学年として自分の役割を果たそうと一生懸命な様子が伝わり感心しました。鶏舞や団体競技の内容も見ごたえがあるように工夫が重ねられていることが感じられました。統合した花泉小学校のカラーが出来上がってきていると感じました。

運営に関して、いくつかのご質問・ご意見をいただいています。

◎まずは徒競走ゴールの「なぜ？」についてです。

その1 「ゴールテープが無かったのはなぜ？」

ゴールテープが無かったのは「総練習で風が強くてテープがまっすぐに張れず、正しい判定ができなかったため」です。そのため、一段高いところから見ている職員が着順判定をしました。

その2 「ゴールしたあとの四角い箱は何？ ゴールラインから近すぎない？」

あの箱は、決勝係の児童がどの子連れで行けばよいかわからなくなるため「ゴールした後、自分のコースの箱に立ってね。」という運営上の約束です。「ここで止まれ！」という意図ではありません。また、ゴールラインから距離をとればとるほど、保護者の皆さんのカメラゾーンもゴールから遠のくことになります。

◎実施時期について「5月半ば、花中運動会 5/17 の翌週が良かった」とのご意見をいただきました。これについては、5年生の宿泊学習について、本校の希望に対して施設から示された期日が5/15・16だったためです。その後2週間の練習期間を考え、当初5/31としていましたがTGC開催日であることが告知され6/8の実施となりました。

◎児童の応援席について「日よけテントが必要」とのご意見をいただきました。

学校としては児童の熱中症予防の観点から、午前中の開催や、徒競走後の休憩時間等の対策を講じました。また、練習期間も十分に配慮してきました。開催時期については前記のようなことから他行事との兼ね合いを十分検討しますが、次年度以降も「テント無し」と考えています。

仮に、テントを設営するとなった場合、次のことを解決する必要があります。

- 全校児童が入るためには、各学級1張、全校で18張のテントが必要となること。
- 必要数のテントを確保するには多額の予算(1張約15万円)が必要となること。閉校した学校保有の旧型テントについては、同一サイズで使用可能な数を確認していないこと。仮に必要数準備できても学校に保管可能な場所がないこと。
- テントを設営することとした場合、運動会当日朝に保護者に設営作業をお願いしなければならないこと。

必要数の確保・設営にはPTAのご助力が必要です。学校としては今年度の形が最善策ではなくとも手持ちのカードでの次善策と考えます。

◎「午後の部で使った地区のテントが、最初から前の方にあった方が良かった。」との意見もいただきました。学校としては「保護者スペースは運営に支障をきたさない範囲に設定し、区割りをせず、お好きな場所で観覧いただく」と考えています。

◎駐車場についてはPTA執行部の皆さんから助言をいただき、駐車証の発行を取りやめました。このことについて特段のご意見は頂いておりません。次年度も今年度の形で行うことになると思われます。

学校行事は「授業として、学校が主体として決定すること」と「保護者のみなさんに、参加の在り方を検討いただくこと」があると考えます。

たくさん感想ありがとうございました。